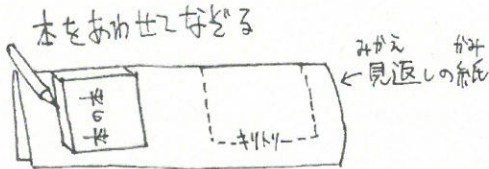


# 製本の手順

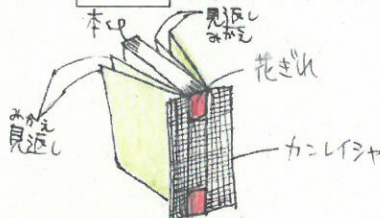
- 1 文庫本の表紙をはがす。



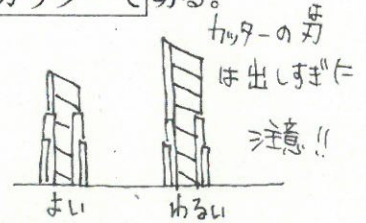
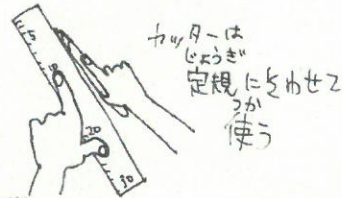
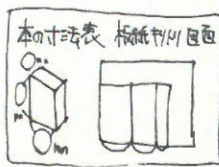
- 2 見返しを、もってきた本にそわせて表と裏の分をはさみで切る。



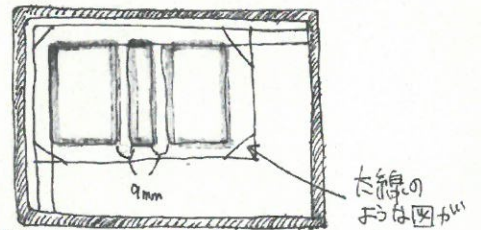
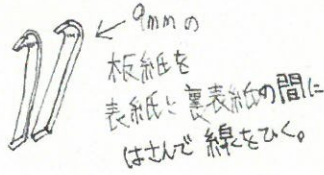
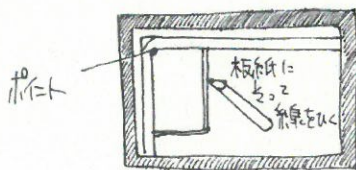
- 3 見返し、カンレイシャ、花ぎれをボンドで本につける。



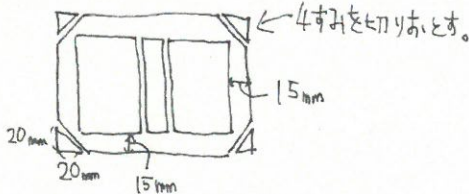
- 4 プリントの寸法表から板紙のサイズをはかる。そのあとカッターで切る。



- 5 裏打布のポイントに合わせ板紙をおいて、えんぴつで線をひく。なるべく、けしゴムを、つかわない。



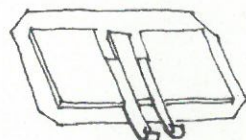
- 6 裏打布を必要なサイズに切り整える。赤線のガイドを頼りにする。  
※ できるだけカッターをつかう。むずかしそうなときは、ハサミをつかう。



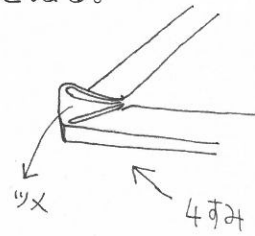
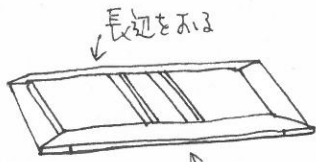
- 7 裏打布にハケで糊ボンドをぬり、線引きした位置に板紙をはりつけていく。



④ ゼムカ、板紙と9mmの板紙を線にあわせてはる。  
9mmガイドはとりのどく。

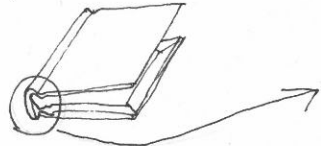


- 8 <sup>うらうちぬの</sup>裏打布の<sup>ちょうへん</sup>長辺から<sup>お</sup>折り、<sup>たんべん</sup>短辺は<sup>つく</sup>ツメを作りハサミでカットする。  
<sup>たんべん</sup>短辺を<sup>お</sup>折る。※乾いてきたらふたたび糊ボンドをぬる。

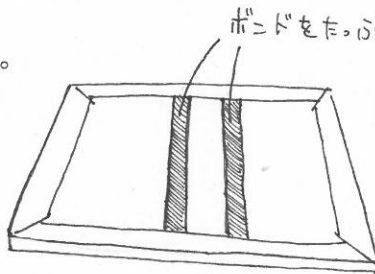


- 9 <sup>せ</sup>背の<sup>かど</sup>角を出す。

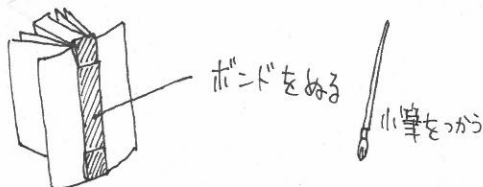
布を外側に折る



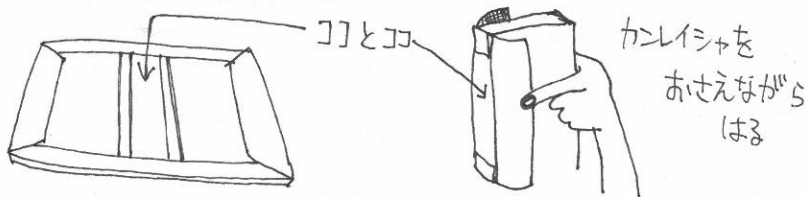
- 10 <sup>うらうちぬの</sup>裏打布の<sup>みぞ</sup>溝にボンドをぬる。  
 ※<sup>お</sup>折り返した<sup>かえ</sup>布の<sup>ぶぶん</sup>部分には<sup>ぬ</sup>塗らない。



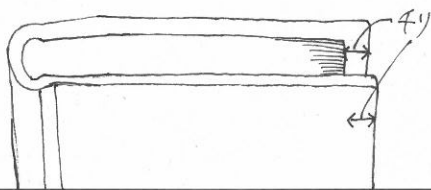
- 11 <sup>ぬ</sup>カンレイシャの上から本の背にボンドを塗る。  
 ※ <sup>ぜんたい</sup>カンレイシャ全体には塗らない。背の部分のみ。



- 12 <sup>うらうちぬの</sup>裏打布にはりつけた<sup>いたがみ</sup>板紙の<sup>せ</sup>背の部分に、本の<sup>せ</sup>背をつける。  
 ※<sup>じょうげさゆう</sup>上下左右が<sup>ちゅうおう</sup>中央に来るようにする。

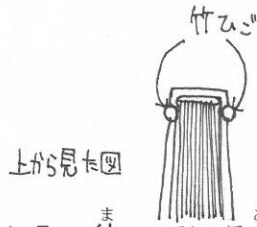


- 13 <sup>おもて</sup>チリを<sup>うら</sup>表・裏の<sup>ひょうし</sup>表紙、<sup>きんとう</sup>どちらにも均等に<sup>ほうこう</sup>出す。本を背の<sup>お</sup>方向に<sup>こ</sup>押し込む。



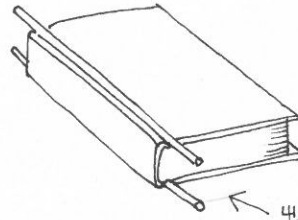
ここまでできたら一度必ず確認します。ボランティアさんは滝川を呼んでください。

- 1 4 <sup>みぞ たけ</sup>溝に竹ひごを挟み<sup>はさ</sup>スチレンボードで挟む。重石<sup>おもし</sup>をして10分待つ。  
 ※輪ゴムで竹ひごを固定するが強く巻きすぎないように注意。あくまでも輪ゴムは、  
 ずれないようにする<sup>ため</sup>為のもの。



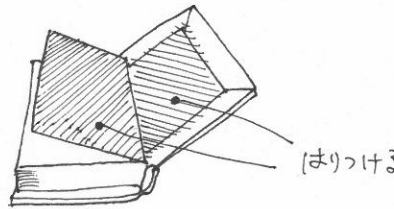
上から見た図

ヨコから見た図



- 1 5 待っている間に身の回りの片付け。

- 1 6 竹ひごを一旦外し、見返しを本の表紙に貼りつける。



- 1 7 吸い取り紙を見返しと本の間に3枚ずつ挟み、再び竹ひごを溝に沿わせ輪ゴムで固定。スチレンボードに挟んで重石をする。

- 1 8 後片付け。自分でやる。時間がない場合はボランティアさんに手<sup>て</sup>伝<sup>つ</sup>ってもらおう。